

FMU にじいろ通信

第 9 号 2024年 6月発行

今年度よりダイバーシティ推進室長を拝命いたしました前島裕子と申します。

福島医大におけるダイバーシティの推進とは、多様な価値観を認め合い、個人が尊重され、持てる個性と能力を最大限に発揮できる環境づくりです。しかし、それはあくまでも最初の一步です。最終的な目標としてはみなさんのウェルビーイング、つまり心と身体の健康と社会的にも満たされた状態、大きな意味での「幸せ」を達成するお手伝いができたらと考えております。

福島医大は医療・研究・教育を担っております。それぞれに従事する方がウェルビーイングの状態であってこそそれぞれの役割を十二分に果たせます。したがって本推進室が、福島医大発展の礎となるべく、ダイバーシティ推進に微力ながら全力で尽力させていただきます。

また、本学のダイバーシティ環境の実現には女性教員比率の向上も大きな課題です。

私は病態制御薬理医学講座で准教授も兼務しておりますが、研究の世界ほど男女平等な環境はないと思ってます。研究者にとって最も大事なのはその才能を存分に発揮し、優れた研究成果を論文として発表し世界に認められることだと思います。

出産・育児世代の女性医師・研究者にとってモチベーションを保ち、研究の時間を確保し、優れた研究成果を論文として発表することこそがキャリアアップの鍵と考えます。

ぜひ皆さんと一緒に考え、キャリアアップのサポートをさせていただき女性教員比率の向上を目指していく一助となれば幸いです。



令和6年度 ダイバーシティ推進本部・同推進室メンバー紹介（敬称略）

【ダイバーシティ推進本部】

本部長(理事長)
副本部長(ダイバーシティ推進室長)
副本部長(法人経営室長)
副本部長(事務局長)
本部員(医学部長)
本部員(看護学部長)
本部員(保健科学部長)
本部員(総合科学教育研究センター長)
本部員(附属病院長)
本部員(学生部長)
本部員(会津医療センター附属病院長)

竹之下 誠一
前島 裕子
藤島 初男
菅野 俊彦
藤森 敬也
高橋 香子
矢吹 省司
松岡 有樹
竹石 恭知
亀岡 弥生
横山 斉

【ダイバーシティ推進室】

室長(病態制御薬理医学講座 准教授)
室員(衛生学・予防医学講座 准教授)
室員(細胞統合生理学講座 講師)
室員(生化学講座 助教)
室員(健康リスクコミュニケーション学講座 助手)
室員(看護学部小児・精神看護学部門 准教授)
室員(看護学部母性看護学・助産学部門 准教授)
室員(保健科学部作業療法学科 講師)
室員(保健科学部理学療法学科 講師)
室員(会津医療センター精神医学講座 教授)
室員(会津医療センター精神医学講座 助手)

前島 裕子
各務 竹康
小林 大輔
小橋 友理江
福島 安瑞美
大川 貴子
山口 咲奈枝
石川 陽子
中野渡 達哉
川勝 忍
羽金 裕也

育児サポート助成事業説明会を開催

「育児サポート助成事業説明会」を5月17日（金）に開催しました。

「福島市ファミリーサポートセンター」からは、「子育てを支援する」ボランティア事業について伺いました。「こども緊急サポートふくしま」はいくつかあるプランについて丁寧に説明くださいました。

「病児病後児保育所-すくすく-」からは《病児病後児保育についての利用方法》として受け入れ可能なお子さん、受け入れができないお子さんの状態などご説明いただきました。緊急時には医大附属病院への受診もあるということでした。



研究支援員の配置に係る 要望調査のご案内

本学ではライフイベント（出産・育児・介護・看護等）を抱えた教員の研究支援を行っております。令和6年度、下半期配置分の要望調査を行います。

ご案内は各所属ごとに発送いたします。

◆対象者

本学に所属する助手以上の常勤教員のうち、本人が以下のいずれかの要件を満たすもの。

- ①本人もしくは配偶者が妊娠中
- ②家庭において小学校6年生までの児童の養育者
- ③同居・別居に問わず要介護認定を受けている親族の介護者
- ④その他、上記に準ずる(家族の看病をしている等)状況にあること

◆支援を希望される方

7月下旬～8月上旬にご案内を予定しています。

(デスクネットにも掲載予定)

◆支援期間

令和6年10月1日～令和7年3月31日

イベントのお知らせ

今年度のイベント予定は下記の通りとなります。

- ・女性研究者カフェ（年2回）
- ・ダイバーシティ推進講演会（10月）
- ・各学部主催カフェ、会津医療センターカフェ（それぞれ開催時期未定）
- ・スキルアップセミナー（秋ごろ）
- ・キャリアアップセミナー（秋ごろ）
- ・キャリアサポート交流会（年2回）
（初回は7月3日開催）

ダイバーシティに関するアンケートを実施します

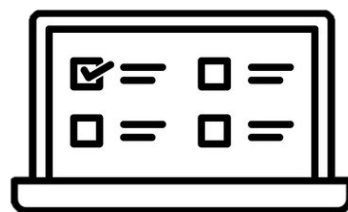


今年も例年どおり、「ダイバーシティに関するアンケート」を実施します。

今年度より、筆記型のアンケートではなくWebアンケートに変わります。

皆様のご協力をお願いいたします。

※過去のアンケート結果については、ダイバーシティ推進室のHPで見られます。



◆用語解説◆

『SDGs』

持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国際サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。

出典：【外務省：HPより一部抜粋】

詳しくは下のQRコードから



基礎資料は下のQRコードから



福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別・立場に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指しております。

福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657（内線：2807）

HP : <https://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

ダイバーシティ推進室長 前島 裕子